

# 地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

施設名：清流園地域密着型介護老人福祉施設

施設種類：グループホーム ・ 小規模多機能型居宅介護施設

地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護 (該当に○)

日時： 8 年 1 月 28 日

参加者

(人数)

利用者代表	0 人	有識者	0 人
利用者家族等	1 人	高齢者あんしん支援センター職員	1 人
地域住民の代表	1 人	出雲市職員	0 人
その他（園長・業務課長・課長補佐・生活相談員・リーダー）			2 人

議題

## 1、入居状況報告

	9 月	11 月	1 月
利用者	29 名	29 名	29 名
男性	8 名	8 名	8 名
女性	21 名	21 名	21 名

## 2、要介護度

	9 月	11 月	1 月
要介護 2	0 名	0 名	0 名
要介護 3	7 名	8 名	8 名
要介護 4	11 名	10 名	10 名
要介護 5	11 名	11 名	11 名
平均介護度	4.13	4.10	4.10

## 3、年齢

	9 月	11 月	1 月
60 歳代	1 名	1 名	1 名
70 歳代	3 名	3 名	4 名
80 歳代	9 名	9 名	9 名
90 歳代	15 名	15 名	14 名
100 歳代	1 名	1 名	1 名
平均年齢	88.8 歳	88.9 歳	87.9 歳

## 4、事故報告書、表皮剥離報告書の分析について(令和 7 年度)

○事故、剥離の時間、場所、種類について分析結果の内容を話しあった

- ① 6～8 時、14～16 時がもっとも多かった
- ② 種類としては転倒が多く日中の活動的な時間に多く報告があがった。
- ③ 場所としては居室が多く、大きな音がして気づくこともあった
- ④ 誤薬も 4 件あり職員の確認不足、思い込みで起こった
- ⑤ 表皮剥離は 7～8 月がもっとも多く起こった(利用者さんが自分で動いて出来たものも含む)
- ⑥ 剥離の種類は腕、足がもっとも多かった

※今後これらの結果を細かく分析して事故防止に生かしていきたいと思います。

9月から11月の利用者様との関わりについて

○鍋を一緒に作って忘年会を行った

○正月には初もうでにでかけた

○足浴など身体が暖まる個別活動を行った

○各ユニットで手作りの門松を作って飾った

○茶わん蒸し作りなどのユニット活動を行い、利用者さんと一緒に作ることも楽しんだ

参加者の感想、意見

① 高齢者あんしん支援センターの方

○食べるだけでなく作る楽しさも提供することはとてもよい事だと思います。今後もぜひ継続して行って下さい。

② 地域住民の方

○杵と臼で餅をつくことはめずらしいことだと思います。利用者の方も参加しておられとてもよいと思います。

③ 利用者さん家族

○自分の母も電車に乗って外出に出かけました。母も喜んでおり、今後も外出支援をぜひ行っていただきたいと思います。